

学 習 の し お り

(令和4年度)

— 技能連携生用 —

学校法人 三重徳風学園

徳風高等学校

「学習のしおり」の利用について

この「学習のしおり」は、徳風高等学校通信制課程に在学するみなさんの学習のすすめ方、諸手続きなどについて、説明したものです。

是非、みなさんに知っておいてほしいことが書かれていますので、これから学習をすすめていく前に、まず、この「学習のしおり」をよく読んで、理解することから始めてください。

書かれている内容でわからないことなどありましたら、遠慮せずに学校へ問い合わせてください。

目 次

履修科目予定表	2
学籍番号について	5
卒業するためには	5
単位を修得するまで	5
学習の流れ	5
1. レポート（報告課題）の作成と提出	6
2. スクーリング（面接指導）の受け方	7
3. テスト（単位認定試験）の受け方	8
4. 特別活動	9
事務手続	10
行事予定とレポート提出	12
学習計画表	16

令和4年度1年次生の履修科目予定表

学 科 名		普 通 科				計	
教 科	科 目	標 準 単位数	1年次	2年次	3年次		
普通教育に関する各教科・科目	国 語	現代の国語	2	2			8
		言語文化	2		2		
		論理国語	4			4	
	地理歴史	地理総合	2	2			7
		歴史総合	2		2		
		地理探究	3			3	
	公 民	公 共	2	2			6
		倫 理	2		2		
		政治・経済	2			2	
	数 学	数 学 I	3	1	2		5
		数 学 A	2			2	
	理 科	科学と人間生活	2	2			4
		生物基礎	2		2		
	保健体育	体 育	7～8	2	2	3	9
		保 健	2	1	1		
	芸 術	書 道 I	2			2	2
外 国 語	英語コミュニケーションI	3	2	1		3	
家 庭	家 庭 基 礎	2		2		2	
情 報	情 報 I	2		2		2	
総合的な探究の時間		3			3	3	
小 計		51	14	18	19	51	
技能連携科目の小計		※	※	※	※	24～25	
科目の単位数の計		※	※	※	※	75～76	
特別活動	ホームルーム活動等（時間）		10	10	10		

※ 技能連携科目は、各学校で異なるため記載しません。

令和4年度2年次生の履修科目予定表

学 科 名		普 通 科				計
教 科	科 目	標 準 単位数	1年次	2年次	3年次	
普通教育に関する各教科・科目	国 語	国 語 総 合	4	2	2	7
		国 語 表 現	3		3	
	地理歴史	世 界 史 B	4		4	12
		日 本 史 B	4		4	
		地 理 B	4	4		
	公 民	現 代 社 会	2	2		2
	数 学	数 学 I	3	1	2	5
		数 学 A	2		2	
	理 科	科学と人間生活	2	2		4
		生 物 基 礎	2		2	
	保健体育	体 育	7～8	2	2	9
		保 健	2	1	1	
	芸 術	書 道 I	2			2
	外 国 語	コミュニケーション英語I	3	2	1	3
家 庭	家 庭 基 礎	2		2	2	
情 報	社 会 と 情 報	2		2	2	
総合的な探究の時間		3			3	3
小 計		51	16	16	19	51
技能連携科目の小計		※	※	※	※	24～25
科目の単位数の計		※	※	※	※	75～76
特別活動	ホームルーム活動（時間）		10	10	10	

※ 技能連携科目は、各学校で異なるため記載しません。

令和4年度3年次生の履修科目予定表

学 科 名		普 通 科				計
教 科	科 目	標 準 単位数	1年次	2年次	3年次	
普通教育に関する各教科・科目	国 語	国 語 総 合	4	2	2	7
		国 語 表 現	3		3	
	地理歴史	世 界 史 B	4		4	12
		日 本 史 B	4		4	
		地 理 B	4	4		
	公 民	現 代 社 会	2	2		2
	数 学	数 学 I	3	1	2	5
		数 学 A	2		2	
	理 科	科学と人間生活	2	2		4
		生 物 基 礎	2		2	
	保健体育	体 育	7～8	2	2	9
		保 健	2	1	1	
	芸 術	書 道 I	2			2
	外 国 語	コミュニケーション英語I	3	2	1	3
家 庭	家 庭 基 礎	2		2	2	
情 報	社 会 と 情 報	2		2	2	
総合的な探究の時間		3			3	3
小 計		51	16	16	19	51
技能連携科目の小計		※	※	※	※	24～25
科目の単位数の計		※	※	※	※	75～76
特別活動	ホームルーム活動（時間）		10	10	10	

※ 技能連携科目は、各学校で異なるため記載しません。

学籍番号について

みなさんの学籍番号は、7ケタの数字で示します。

□	□	□	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---

入学した年度
(西暦 下2ケタ)

番 号

* このマスの中に、あなたの学籍番号を記入しておきましょう。

卒業するまで、あなたの学籍番号が変わることはありません。また、レポートを提出したり、テストを受けるときなど、いろいろな手続きにこの学籍番号が必要となりますので、しっかり覚えておいてください。

卒業するためには

次の条件をすべて満たすことで、卒業が認められます。

- ① 3年以上在籍すること。
- ② 教科・科目について
* 74単位以上を修得していること。(その内、専門科目は24単位以内)
- ③ 必修科目はすべて履修していること。
- ④ 特別活動に30時間以上出席していること。(ホームルーム活動等)

言葉の説明

単位とは、学習量の多少を表す数値。

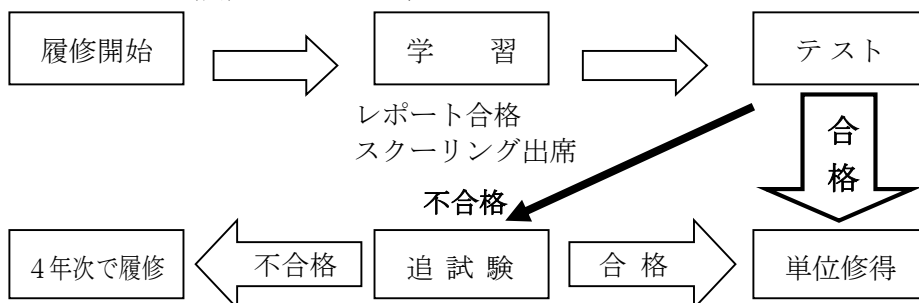
履修とは、科目で決められたレポートをすべて合格し、規定時間数以上スクーリングに出席していること。

単位修得とは、履修した科目のテストを受け、合格すること。

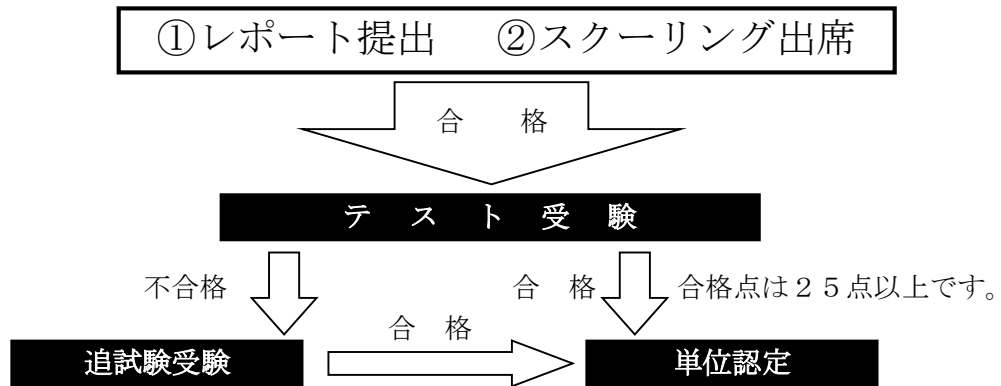
単位を修得するまで

履修を始めた科目は、その年度で単位を修得することが原則です。

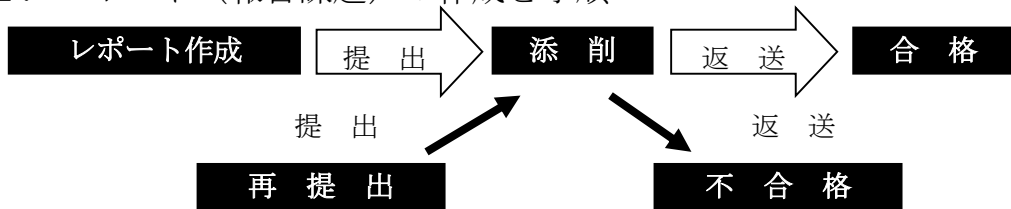
(例) 4月から翌年の3月まで



学 習 の 流 れ



1. レポート（報告課題）の作成と手順



作成の手順

- ①教科書をもとに学習をすすめ、レポートを完成させる。
- ②わからないところは、教科担当の先生に問い合わせる。
(質問票を提出するか、スクーリング時に質問する。)

書道Ⅰのレポート提出について (3年次生)

- ・「学習計画表」の「書道Ⅰ」で指定された教科書の課題を手本にして、何枚か練習をして自分が一番よく書けたと思う作品（清書）を、レポートとして提出してください。清書の半紙は、特に指定しません。普通の半紙で結構です。
- ・清書の提出は、左側に「学籍番号」と「名前」、右下にレポート番号を必ず書いてください。

注意点

- ・レポートの「備考欄」には、年次出席番号を記入。
(例) 1年1組5席 → 1105
- ・レポートは、「提出日」に提出できるように準備してください。
- ・レポートの合格点は、50点以上です。
(不合格の科目は「再提出」となります。)
- ・再提出にならないように、よく見直して提出してください。
- ・合格したレポートは、卒業まで大切に保管しておいてください。
- ・文字・数字は、正確に正しいに書くこと。

2. スクーリング（面接指導）の受け方

スクーリングは、普段自宅で学習している皆さんが教科担当の先生と直接会って、学習の方法とか、疑問に思っていることを質問することができる機会です。また、体育の実技、英語の発音など、自宅学習では勉強できない部分を補う機会でもあります。

年間計画の立て方

- ・行事予定と学習計画等をよく確認して、欠席のないように注意しましょう。

出席したとき

- ・各時間に必ず出席の確認を受けてください。
- ・指定された教室でスクーリングを受けてください。
- ・スクーリング中は、学籍番号順に座ること。
- ・スクーリング中は、携帯電話の使用を禁止します。電源は切っておいてください。
- ・各時間の遅刻・早退・途中退室・怠学は欠席扱いとなります。

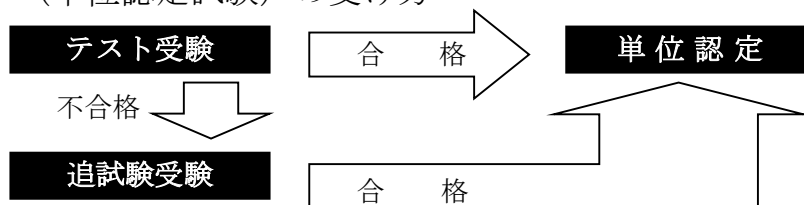
持ち物

レポート
学習のしおり
筆記用具
教科書
ノート
生徒証明書
体操服・運動靴（室内用・屋外用）……………（体育の受講生）
書道用具（半紙も各自で用意してください）…（書道の受講生）
その他各科目で必要な用具

下記のようなレポートは、困ります！

- | | |
|--------------|---------------------------------|
| ①乱雑な字で書かれたもの | ②薄い色の鉛筆で書かれたもの |
| ③小さい字で書かれたもの | ④消しゴムを使わないで訂正されたもの
(ボールペン不可) |

3. テスト（単位認定試験）の受け方



受験資格

次の条件をすべて満たしている科目。

- ① レポートがすべて合格していること。
- ② 規定時間数以上スクーリングに出席していること。

* 「書道Ⅰ」・「総合的な探究の時間」については、レポート・実技・授業中に提出した「作品」等で評価をつけます。評価については、成績通知書で確認してください。

受験上の注意

- ① 試験場では、指定された座席に着くこと。生徒証明書持参。
- ② 机の上には、筆記用具以外は置かないこと。（下じき・筆箱も置かない）
- ③ 試験場には、携帯電話を持ち込まないこと。試験中に着信音が鳴った場合は不正行為と見なします。
- ④ 不正行為をすると、その科目は0点となり、単位不認定となります。
- ⑤ 試験当日欠席をする場合、必ず学校に連絡をしてください。

試験結果

- ・合格点は25点以上とします。
- ・不合格の科目は、追試験を受けてください。
- ・テスト用紙は、返却しませんのであらかじめ了承してください。

追試験

- ・不合格の科目、受験しなかった科目は、追試験を受けてください。
- ・追試験で合格した科目の評価は、「2」になります。
- ・試験当日の欠席が下記の理由の場合、必要な証明書を提出した者は、追試の点数の10割もしくは8割をその試験の点数とする。

理 由	必要な証明書	得点割合
病気・ケガ	医師の診断書	8割
親族の死去のため（忌引）	葬儀案内状・死亡者除籍の住民票等	10割
公欠（就職試験、進学試験） （本学の代表として参加） 〃（伝染病による出席停止）	企業からの通知書・受験票等 本校の公欠証明 医師の診断書	10割
その他		
天災地変のため	公的証明書	10割
公共交通機関の延着のため	延着証明書	10割

- ・上記の理由で、欠席をする場合、必要な証明書を各技能連携校へ提出してください。

4. 特別活動

高等学校の教育は豊かな人間性の形成を目標として、教科の学習以外に特別活動の時間があり、必要時間数以上の出席と活動が必要になります。

特別活動には、HR（ホームルーム）、学校行事などがあります。積極的に参加し、活動しましょう。

卒業までに30時間以上出席しなければなりません。

- ① H R・・・生徒間の友情を深めることを目的とし、担任から通信制の（ホームルーム）指導や連絡を受けたり、学校での話し合いやクラスの活動をします。
- ② 学校行事・・・生徒と先生のつながりを深め、生徒同士の友情を育て、楽しい学校生活になることを目的としています。
- ③その他・・・当校が特別活動として認定した時間。

<特別活動の内訳、時間数>

行 事 名	時間数	対象	行 事 名	時間数	対象
始 業 式	1	在校生	オリエンテーション	3	新入生
ガ イ ダ ン ス	3	在校生	ホ ー ム ル ー ム	1	在校生
入 学 式	1	新入生	終 業 式	1	在校生

事務手続

届け出について

- ・次の場合所定の届出用紙を在籍している専門学校または専修学校へ提出してください。
- ＊生徒、保護者（保証人）の住所、名前等が変更になった時。
- ＊転学、退学、休学をする時。

各種証明書が必要なとき

- ・証明書交付願に手数料、郵送料を添えて在籍している専門学校または専修学校へ提出してください。（切手可）
- ・当日発行はできませんので余裕をもって申し込みをしてください。
- ・証明書の手数料

種 類	手 数 料	種 類	手 数 料
在 学 証 明 書	300円	卒 業 証 明 書	500円
卒 業 見 込 証 明 書	500円	成 績 ・ 単 位 修 得 証 明 書	500円
調 査 書	500円	在 籍 証 明 書	300円
推 薦 書	1,000円		
生徒証明書（再発行）	500円		

＊英文の証明書発行手数料は、上記手数料に500円加算されます。

＊卒業後は直接本校へ申込みをしてください。

様式

証明書交付願

徳風高等学校

専門学校・専修学校

申込年月日	年 月 日	到着希望日	年 月 日
学籍番号		入学 卒業	年 月 年 月
名前		生年 月 日	年 月 日
現住所	〒 TEL() -		

下記の証明書の交付をお願いします。

種 別	手 数 料	必要数	提 出 先
在学証明書	300円		・進学の場合・学部、学科、コース等を記入すること
卒業見込証明書	500円		*.....大学.....学部.....学科
卒業証明書	500円		*.....大学.....学部.....学科
在籍証明書	300円		*.....短大.....学部.....学科
成績・単位修得証明書	500円		*.....短大.....学部.....学科
調査書(進学・就職)	500円		*.....専門学校.....課程
推薦書	1000円		*.....専門学校.....課程
生徒証明書(再発行)	500円		・就職の場合・会社名を正確に記入すること
			*.....

* 英文の証明書発行手数料は、上記手数料に500円加算されます。

以下の欄には記入しないでください。

受付年月日	手数料合計	郵送料	請求金額	領 収	備 考
/	円	(普・速) 円	円	切手で 円	発送 /

令和4年度－行事予定とレポート提出日－

月 日	行 事 予 定
技能連携校の入学式の日	入学式は、技能連携校の入学式の日にあわせて実施します。
6月下旬頃～	前期スクーリング は、6月下旬頃から始めます。 日程の詳細については後日連絡します。
10月初旬～	後期スクーリング は、10月中旬頃から始めます。 日程の詳細については後日連絡します。
2月中旬	単位認定試験
2月中旬～3月上旬	追試験

- ① 行事予定等の変更がある場合には、追って連絡をします。
- ② スクーリングは、上記日程より数日程度予定。
- ③ スクーリングは、欠席が多いと単位の修得は難しくなります。
- ④ 技能連携科目の成績は、各技能連携校で実施する3学期末までの成績が高等学校の成績となります。

科目別レポート提出締切日（1年次生）

年次	科目	締切日					
		6月10日	7月10日	10月10日	11月10日	12月10日	1月15日
1 年 次 生	現代の国語	R①	②	③	④	⑤	⑥
	地理総合	R①	②	③	④	⑤	⑥
	公共	R①	②	③	④	⑤	⑥
	数学 I		R①		②		③
	科学と人間生活	R①	②	③	④	⑤	⑥
	体育（X）	R①		②			
	保健（X）	R①		②		③	
	英語コミュニケーションI	R①	②	③	④	⑤	⑥

※レポート提出締切日の詳細日程は、技能連携校から連絡があります。

- ① 教科名の横列は、提出締切日のレポート番号です。
(R①は、レポートナンバー1です)
- ② レポートは、各技能連携校で回収し一括で徳風高等学校へ発送します。
- ③ レポートは、上記提出締切日前に、在籍している各技能連携校に提出してください。
- ④ 行事予定等の変更がある場合には、追って連絡をします。

科目別レポート提出締切日（2年次生）

年次	科目	締切日					
		6月10日	7月10日	10月10日	11月10日	12月10日	1月15日
2 年 次 生	国語総合	R⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
	世界史B	R①②	③④	⑤⑥	⑦⑧	⑨⑩	⑪⑫
	数学I	R④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	家庭基礎	R①	②		③	④	
	体育(Y)	R①		②			
	保健(Y)	R①	②		③		
	コミュニケーション英語I	R⑦	⑧		⑨		
	社会と情報	R①	②	③	④	⑤	⑥

※レポート提出締切日の詳細日程は、技能連携校から連絡があります。

- ① 教科名の横列は、提出締切日のレポート番号です。
(R①は、レポートナンバー1です)
- ② レポートは、各技能連携校で回収し一括で徳風高等学校へ発送します。
- ③ レポートは、上記提出締切日前に、在籍している各技能連携校に提出してください。
- ④ 行事予定等の変更がある場合には、追って連絡をします。

科目別レポート提出締切日 (3年次生)

年次	科目	締切日					
		6月10日	7月10日	10月10日	11月10日	12月10日	1月10日
3 年 次 生	国語表現	R①	②③	④⑤	⑥⑦	⑧	⑨
	日本史B	R①②	③④	⑤⑥	⑦⑧	⑨⑩⑪	⑫
	数学A	R①	②	③	④	⑤	⑥
	体育(Z)	R①			③		
	書道I	R①	②	③	④	⑤⑥	
	家庭基礎	R①	②		③	④	
	総合的な探究の時間		R①	②		③	

※レポート提出締切日の詳細日程は、技能連携校から連絡があります。

- ① 教科名の横列は、提出締切日のレポート番号です。
(R①は、レポートナンバー1です)
- ② レポートは、各技能連携校で回収し一括で徳風高等学校へ発送します。
- ③ レポートは、上記提出締切日前に、在籍している各技能連携校に提出してください。
- ④ 行事予定等の変更がある場合には、追って連絡をします。
- ⑤ 「書道I」の清書の提出は、左側に「学籍番号」と「名前」、右下にレポート番号を必ず書いてください。

学習計画表

現代の国語	
レポート 6枚 スクーリング 2時間	
R 1	「こそめスープ」 P 6～P 14
R 2	「水の東西」 P 33～P 38
R 3	「無彩の色」 P 78～P 86
R 4	「鍋洗いの日々」 「真夏のひしこ漁」 P 94～P 115
R 5	「りんごのほっぺ」 P 150～P 158
R 6	「真の自立とは」 P 179～P 187

国語表現	
レポート 9枚 スクーリング 3時間	
R 1	「1 言葉に変える」 「2 声の表現」 P 6～25
R 2	「4 人とつながる言葉」 P 32～P 35
R 3	「5 言葉を遊ぶ」 「ズームアップ3 レトリックの工夫」 P 38～P 50
R 4	「7 小論文Ⅰ」 P 52～P 65
R 5	「8 小論文Ⅱ」 P 66～P 77
R 6	「10 プレゼンテーションの方法」 「12 話し合いの方法」 P 86～P 112
R 7	「漢字と語彙のトレーニング」 P 144～P 145
R 8	「手紙の書き方」 P 150～P 151
R 9	「言葉-自己表現の強い武器」 「言葉の持つ力」 P 158～P 163

世界史B	
レポート 12枚 スクーリング 4時間	
R 1	西アジア世界・地中海世界の形成 P 6～P 35
R 2	南アジア世界・東南アジア世界の形成 P 36～P 47
R 3	東アジア世界・内陸アジア世界の形成 P 48～P 66
R 4	イスラーム世界の形成と拡大 P 68～P 81
R 5	ヨーロッパ世界の形成と変動 P 82～P 109
R 6	アジア諸地域世界の繁栄と成熟 P 114～P 136
R 7	ヨーロッパの拡大と大西洋世界 P 137～P 149
R 8	産業社会と国民国家の形成 1 産業革命 2 合衆国の独立 P 148～P 157
R 9	世界市場の形成とアジア諸国 P 158～P 185
R 10	世界の分割 世界を支配する国々 P 202～P 220
R 11	二つの世界大戦 P 220～P 229
R 12	戦後世界の形成と変容 P 230～P 253

地理B	
レポート 12枚 スクーリング 4時間	
R1	第I部 1章 2章 地理情報と地図 地図活用と地域調査 P2～P24
R2	第II部 1章 自然環境 1節 世界の大地形 P25～P47
R3	第II部 1章 自然環境 2節 世界の気候 P48～P69
R4	第II部 1章 自然環境 3節 日本の自然の特徴と人々の生活 4節 環境問題 P70～P87
R5	第II部 2章 資源と産業 1節 産業の発達と変化 2節 世界の農林水産業 P88～P105
R6	第II部 2章 資源と産業 3節 食糧問題 4節 世界のエネルギー-鉱山資源 5節 資源・エネルギー問題 P106～P129
R7	第II部 2章 資源と産業 6節 世界の工業 7節 第3次産業 8節 世界を結ぶ交通・通信 9節 世界の貿易と経済圏 P130～P158
R8	第II部 3章 人口・村落・都市 1節 世界の人口 2節 人口問題 3節 村落と都市 4節 都市・居住問題 P159～P191
R9	第II部 4章 生活文化・民族・宗教 1節 生活文化 2節 民族と宗教 3節 現代世界の国家 4節 民族・領土問題 P192～P218
R10	第III部 1・2章 現代世界の地域区分/現代世界の諸地域 1節 地誌の考察方法 2節 東アジア P219～P242
R11	第III部 2章 現代世界の諸地域 3節 東南アジア 4節 南アジア 5節 西アジアと中央アジア 6節 アフリカ P243～P272
R12	第III部 2章 現代世界の諸地域 7節 ヨーロッパ 8節 ロシア 9節 アンゴラアメリカ 10節 ラテンアメリカ 11節 オセアニア 3章現代世界と日本 P273～P330

日本史B	
レポート 12枚 スクーリング 4時間	
R1	第1章古代国家の形成と貴族文化の誕生 原始社会の生活と文化 P6～P21
R2	律令国家の形成と古代文化の展開 P22～P60
R3	第2章武家社会の形成と生活文化のめばえ 中世社会のめばえ P64～P79
R4	武家社会の形成と東アジア P80～P98
R5	第3章近世社会の形成と庶民文化の展開 ヨーロッパ文化との接触と国内統一 P99～P119
R6	近世社会の発達と町人文化 P124～P152
R7	第4章近代国家の形成と国民文化の発展 開国から明治維新へ P154～P173
R8	立憲政治の形成と国民文化 P174～P183
R9	日本の近代化と東アジア P186～P209
R10	激動する世界と日本 P210～P228
R11	第5章現代の世界と日本 占領と国内改革 P230～P251
R12	新しい国際秩序と日本の課題 P252～P265

公共	
レポート 6枚 スクーリング 2時間	
R1	公共的な空間をつくる私たち P7～P38
R2	公共的な空間における基本的原理 P39～P83
R3	「法の働きと私たち」 P84～P111
R4	「経済社会で生きる私たち」 P112～P145
R5	「私たちの職業生活」 P146～P173
R6	「国際社会のなかで生きる私たち」 P174～P212

数学 I	
レポ ー ト 9 枚 スク ー リ ン グ 3 時 間	
R 1	「文字と式」 P 3 2 ~ P 4 7
R 2	「実数」 P 4 8 ~ P 5 7
R 3	「不等式」 P 6 0 ~ P 6 7
R 4	「2次方程式」 P 5 8 ~ P 7 1
R 5	「2次関数とそのグラフ」 P 7 4 ~ P 9 1
R 6	「2次関数の値の変化」 P 9 2 ~ P 1 0 2
R 7	「鋭角の三角比」 P 1 0 4 ~ P 1 1 6
R 8	「三角比の応用」 P 1 1 7 ~ P 1 2 8
R 9	「データの分析」 P 1 3 0 ~ P 1 6 1

数学 A	
レポ ー ト 6 枚 スク ー リ ン グ 2 時 間	
R 1	第 1 章 場 合 の 数 と 確 率 1 節 場 合 の 数 P 6 ~ P 9、P 1 2 ~ P 1 9
R 2	第 1 章 場 合 の 数 と 確 率 1 節 場 合 の 数 2 節 確 率 P 1 8 ~ P 2 9
R 3	第 1 章 場 合 の 数 と 確 率 2 節 確 率 P 3 0 ~ P 3 7
R 4	第 2 章 図 形 の 性 質 1 節 三 角 形 の 性 質 P 4 2 ~ P 4 9
R 5	第 2 章 図 形 の 性 質 2 節 円 の 性 質 P 5 0 ~ P 5 7
R 6	第 2 章 図 形 の 性 質 2 節 円 の 性 質 第 3 章 整 数 の 性 質 1 節 倍 数 と 約 数 2 節 整 数 の 性 質 の 応 用 P 5 8 ~ P 5 9、P 7 2 ~ P 9 5

生物基礎	
レポ ー ト 6 枚 スク ー リ ン グ 8 時 間	
R 1	1 編 生 物 の 特 徴 1 章 生 物 の 共 通 性 2 章 生 命 活 動 と エ ネ ル ギ ー P 8 ~ P 3 0
R 2	2 編 遺 伝 子 と そ の は た ら き 1 章 生 物 と 遺 伝 子 ~ 3 章 タ ン パ ク 質 の 設 計 図 P 3 4 ~ P 6 4
R 3	3 編 生 物 の 体 内 環 境 の 維 持 1 章 体 内 環 境 の 維 持 P 6 8 ~ P 7 9
R 4	3 編 生 物 の 体 内 環 境 の 維 持 2 章 体 内 環 境 を 保 つ し く み 3 章 体 内 環 境 を 守 る し く み P 8 0 ~ P 1 1 4
R 5	4 編 生 物 の 多 様 性 と 生 態 系 1 章 植 生 の 多 様 性 2 章 気 候 と バ イ オ ーム P 1 1 8 ~ P 1 4 3
R 6	4 編 生 物 の 多 様 性 と 生 態 系 2 章 気 候 と バ イ オ ーム 3 章 生 態 系 と そ の 保 全 P 1 3 4 ~ P 1 6 1

科学と人間生活	
レポ ー ト 6 枚 スク ー リ ン グ 8 時 間	
R 1	「微生物とその利用」 P 1 4 ~ P 3 5
R 2	「ヒトの生命現象」 P 3 8 ~ P 6 3
R 3	「材料とその再利用」 P 6 6 ~ P 1 1 3
R 4	「光の性質とその利用」 P 1 1 6 ~ P 1 3 5
R 5	「熱の性質とその利用」 P 1 3 8 ~ P 1 5 5
R 6	「太陽と地球」 P 1 5 8 ~ P 2 0 5

※ 令和4年度1年次に履修する「数学 I」2単位は、R1～3です。

<p>体育 (X)</p> <p>レポ ー ト 2枚 スク ー リ ン グ 10時間</p>	
R 1	<p>「スポーツの始まりと変遷」</p> <p>P 1 3 6 ~ P 1 4 7</p>
R 2	<p>「スポーツが経済に及ぼす影響」</p> <p>P 1 4 8 ~ P 1 5 5</p>

<p>体育 (Y)</p> <p>レポ ー ト 2枚 スク ー リ ン グ 10時間</p>	
R 1	<p>スポーツの技術と戦術～技能と体力</p> <p>P 1 3 6 ~ P 1 4 9</p>
R 2	<p>体力トレーニング～運動やスポーツでの安全の確保</p> <p>P 1 5 0 ~ P 1 5 6</p>

<p>体育 (Z)</p> <p>レポ ー ト 3枚 スク ー リ ン グ 15時間</p>	
R 1	<p>生涯スポーツの見方・考え方</p> <p>P 1 5 8 ~ P 1 5 9</p>
R 2	<p>ライフスタイルに応じたスポーツ</p> <p>P 1 6 2 ~ P 1 6 3</p>
R 3	<p>日本のスポーツ振興～スポーツと環境</p> <p>P 1 6 6 ~ P 1 7 1</p>

<p>保健 (X)</p> <p>レポ ー ト 3枚 スク ー リ ン グ 2時間</p>	
R 1	<p>「健康の考え方と成り立ち」</p> <p>P 6 ~ P 1 7</p>
R 2	<p>「運動と健康」</p> <p>P 2 0 ~ P 3 3</p>
R 3	<p>「精神疾患の特徴」</p> <p>P 3 6 ~ P 4 9</p>

<p>保健 (Y)</p> <p>レポ ー ト 3枚 スク ー リ ン グ 2時間</p>	
R 1	<p>思春期と健康～高齢者のための社会的取り組み</p> <p>P 6 4 ~ P 7 7</p>
R 2	<p>保健制度とその活用～健康被害の防止と環境対策</p> <p>P 8 0 ~ P 9 5</p>
R 3	<p>環境衛生活動のしくみと働き～健康的な職業生活</p> <p>P 9 8 ~ P 1 0 9</p>

<p>書道 I</p> <p>レポ ー ト 6枚 スク ー リ ン グ 8時間</p>	
R 1	<p>九成宮醴泉銘 「風景」</p> <p>P 2 0</p>
R 2	<p>蘭亭序 「天朗氣清」</p> <p>P 4 1</p>
R 3	<p>隸書 「世紀」</p> <p>P 5 0</p>
R 4	<p>平仮名の単体 「い」～「う」</p> <p>P 6 6</p>
R 5	<p>平仮名の単体 「ゐ」～「ん」</p> <p>P 6 7</p>
R 6	<p>蓬萊切 「おほぞらに～ありげなるかな」</p> <p>P 7 4</p>

英語コミュニケーション I	
レポート 9枚 スクーリング 12時間	
R1	「Breakfast around the World」 P20～P27
R2	「Australia's Cute Quokkas」 P28～P35
R3	「A Train Driver in Sanriku」 P38～P45
R4	「A Miracle Mirror」 P48～P53
R5	「Learning from the Sea」 P60～P69
R6	「A Funny Picture from the Edo Period」 P78～P87
R7	「A Diary of Hope」 P88～P97
R8	「A Door to a New Life」 P98～P107
R9	「Fighting Plastic Pollution」 P112～P121

家庭基礎	
レポート 4枚 スクーリング 4時間	
R1	I ともに生きる 第1章 家族とともに P8～P31
R2	I ともに生きる 第2章 育つ・育てる P32～P49
R3	I ともに生きる 第3章 シニアとともに P50～P70
R4	Ⅲ消費生活を見直す P148～P169

社会と情報	
レポート 6枚 スクーリング 4時間	
R1	「第1章 情報を活用する」 P8～P27
R2	「第2章 ネットワークを探索する」 P28～P41
R3	「第3章情報社会の課題を見つける」 P42～P51
R4	「第3章情報社会の課題を見つける」 P52～P61
R5	「第4章望ましい情報社会に向かう」 P62～P71
R6	「第4章望ましい情報社会に向かう」 P72～P84

総合的な探究の時間	
レポート 3枚 スクーリング 3時間	
R1	衣食住
R2	衣食住
R3	衣食住

※ 令和4年度1年次に履修する「英語コミュニケーション I」2単位は、R1～6です。

コミュニケーション英語 I	
レポート 9枚 スクーリング 12時間	
R 1	Lesson 1 Hello, Everyone! (海外の仲間から) P 14～P 17
R 2	Lesson 2 A Letter to Australia (両親への手紙) P 18～P 21
R 3	Lesson 3 Kawaii Culture (カワイイカルチャー) P 27～P 31
R 4	Lesson 4 A Symphony of Soup and Noodles (素晴らしきラーメンの世界) P 35～P 39
R 5	Lesson 5 Lifelong Friends (外国語学習のすすめ) P 41～P 45
R 6	Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period (奇想天外な浮世絵師) P 55～P 59
R 7	Lesson 7 Living on Ice (コウテイペンギンの世界) P 61からP 65
R 8	Lesson 8・9 A Garden in Hokkaido Pigs from across the Sea P 69～P 73, P 81～P 85
R 9	Lesson 10・11 Memories on Trees A Window on the Universe P 87～P 91, P 93～P 97

数学 I (2年次 対象)	
レポート 9枚 スクーリング 3時間	
R 1	第1章 数と式 1節 整式 P 14～P 28
R 2	第2章 数と式 2節 実数 P 29～P 33
R 3	第1章 数と式 3節 方程式と不等式 P 36～P 48
R 4	第1章 数と式 3節 方程式と不等式 P 34～P 48
R 5	第2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ P 50～P 65
R 6	第2章 2次関数 2節 2次関数の値の変化 P 68～P 76
R 7	第3章 三角比 1節 鋭角の三角比 P 80～P 93
R 8	第3章 三角比 2節 三角比の応用 P 95～P 99
R 9	第3章 三角比 第4章 集合 と論証 2節三角比の応用 1 節 集合と論証 P 100～P 115

国語総合 (2年次 対象)	
レポート 6枚 スクーリング 2時間	
R 7	『唐詩』 P332～P336 P346
R 8	『羅生門』 P80～P93
R 9	『短歌』 『俳句』 P134～P141
R 10	『折々の歌』 P282～P296
R 11	『論語』 P342～343 P321～P322
R 12	『手技に学ぶ』 P152～P158

※ 令和4年度2年次に履修する「コミュニケーション英語 I」1単位は、R7～9です。

※ 令和4年度2年次に履修する「数学 I」2単位は、R4～9です。